

WALLZET ENOAK 2

シューズクローク収納 [ウォールゼット エノーク2]

施工説明書

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業 グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業 グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業 グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業 グループ	特需 第1・2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いいたします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に沿わず施工を行なった場合については、当社での保証はし兼ねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。
屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけない
ようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



テープ禁止

粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

※施工方法には下地固定と間柱固定があります。下地の状態をご確認の上、施工を行なってください。

目次

製品図面・パーツセット明細 …… 1～3

施工前の確認事項 …… 4～5

下地 躯体準備 …… 6

固定 施工手順 …… 6～10

間柱 躯体準備 …… 11

固定 施工手順 …… 11～14

下地固定・間柱固定

共通施工手順 …… 15～21

設置位置イメージ …… 22

施工動画は
こちら

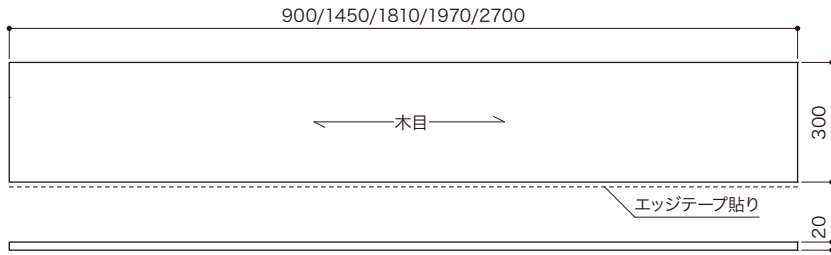


製品図面・パーツセット明細

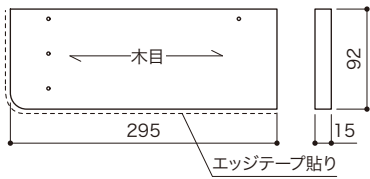
寸法単位: mm

ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

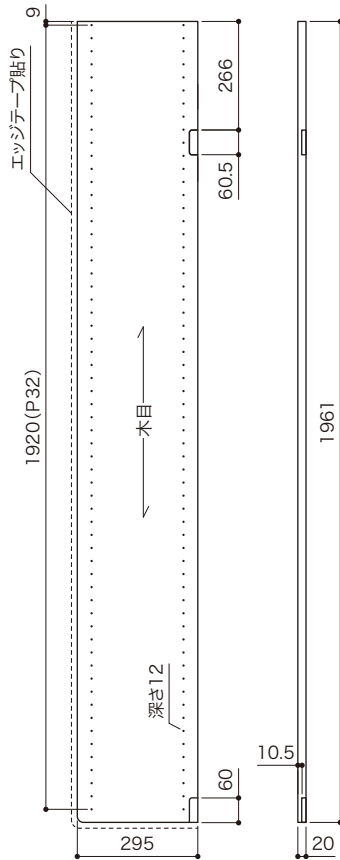
天板



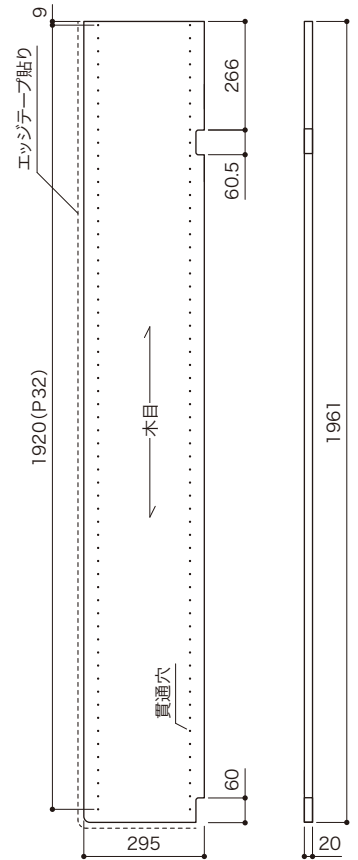
ショート側板



側板 ※左右各1枚・計2枚入です。



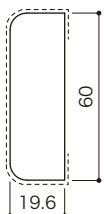
仕切板



図面は左用。右用はこの対称形。

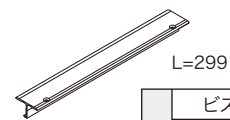
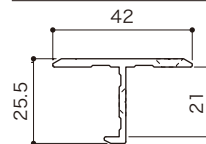
部品	樹脂金具	バインドビスL=16	L字ブラケット	L字カバー	システムビスL=13.5	サラビスL=51	ビスキャップセット	バインドビスL=50	エッジテープ	施工・取扱説明書
パーツ										
ショート側板	3個	6本	—	—	—	2本	2セット	1本	—	各1式
側板	4個	8本	4個	4個	4本	16本	12セット	2本	2枚	各1式
仕切板	3個	6本	4個	4個	4本	4本	—	1本	—	—

背壁栈木 ※上下各1本・計2本入です。



長さ	サラビスL=65	ビスキャップセット
L950	6本	4セット
L1430	8本	6セット
L1950	10本	8セット
L2950	14本	12セット

ジョイント金具



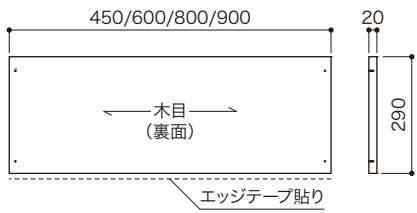
ビスL=16	ビスL=30
2本	2本

製品図面・パーツセット明細

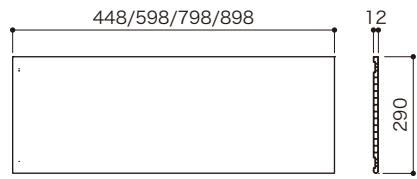
寸法単位:mm

プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

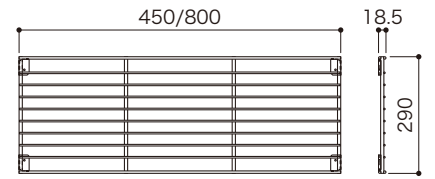
棚板(可動・固定兼用)



樹脂棚板

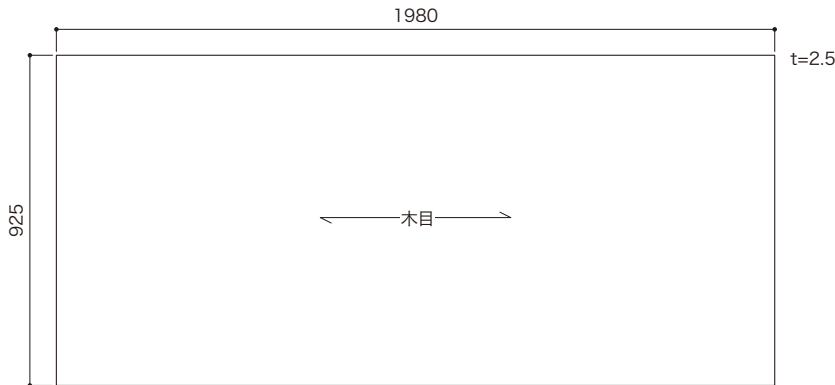


網棚(可動・固定兼用)

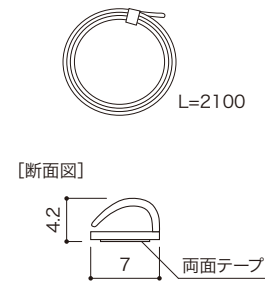


部品	パーツ	樹脂金具	バンドビスL=16	バンドネジL=10	可動棚受(前)	可動棚受(後)	棚ダボ
	棚板		4個	8本	—		2個
樹脂棚板	2枚入	—	—	—	—	—	8個
	8枚入	—	—	—	—	—	32個
網棚		4個	4本	4本		2個	—

背板パネル

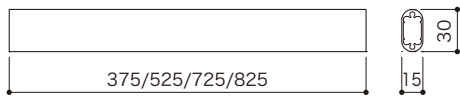


隙間かくし材

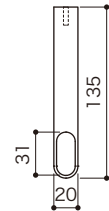


上吊ハンガーパイプ

■ パイプ



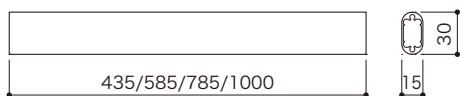
■ ブラケット



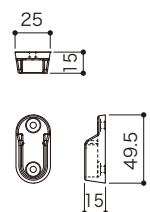
部品	ブラケット	固定ネジL=30	ビスキャップセット	スペーサー
		2個	2本	 ビスキャップ ワッシャー

ハンガーパイプ

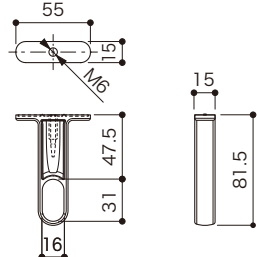
■ パイプ



■ パイプソケット



■ 中吊ブラケット



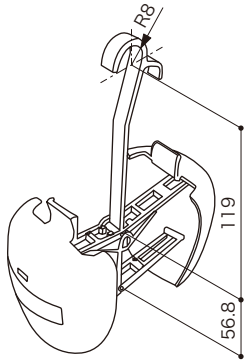
長さ	パイプソケット	バンドビスL=16	中吊ブラケットセット	
	450・600・800		4本	
1000	2個	4本	中吊ブラケット	ボルト・ビスキャップ
			1セット	

製品図面・パーツセット明細

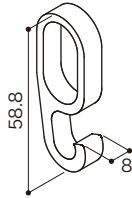
寸法単位:mm

プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

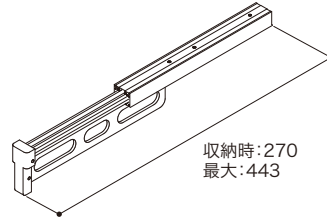
ブーツハンガー ※計2個入です。



ハンガーパイプフック ※計5個入です。

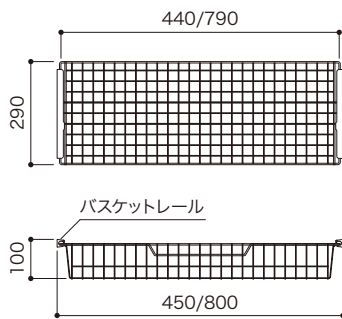


スライドハンガー



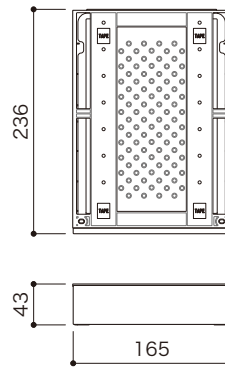
	ナベビスL=16
部品	
	3本

バスケット



	バスケットレール	サラビスL=13
部品		
	左右各1本	4本

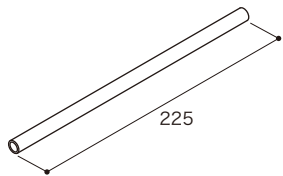
スライドトレイ



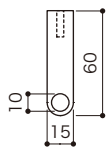
	両面テープ	ナベビスL=20
部品		
	4枚	4本

スリッパラック

■ パイプ(φ10)



■ ブラケット



	ブラケット	固定ネジL=30	ビスキャップセット
部品			
	2個	2本	2セット

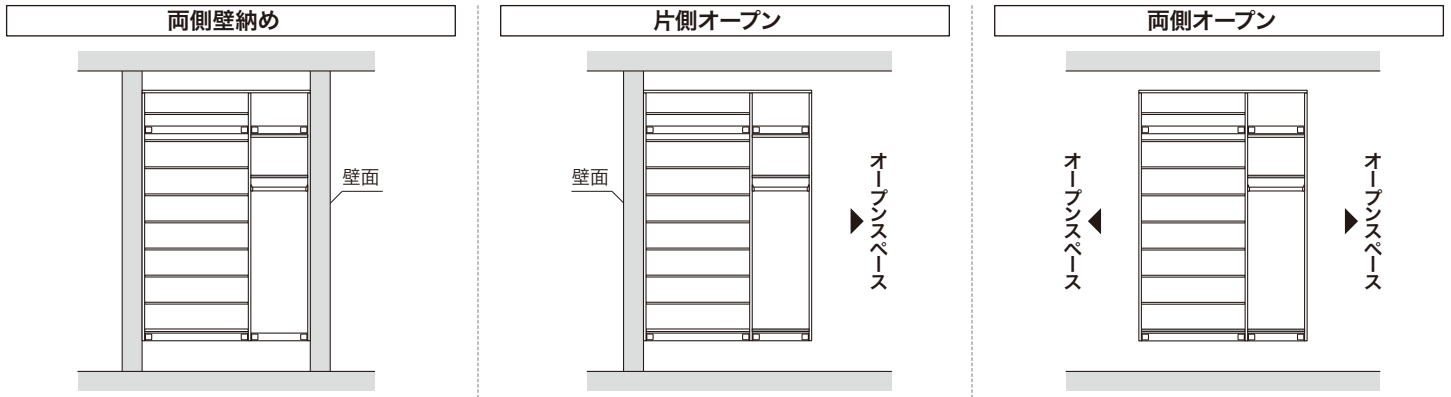
施工前の確認事項

寸法単位: mm

設置条件について

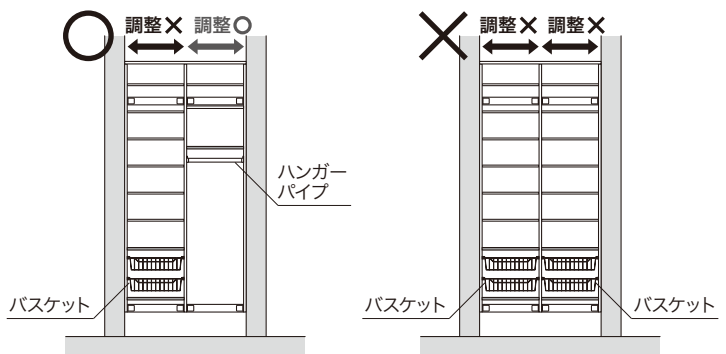
■: 棚板(固定) / □: 棚板(可動) / ▭: ハンガーパイプ

設置方法には **両側壁納め**・**片側オープン**・**両側オープン** の3パターンがあります。
プランによって、施工方法・条件が異なりますので、施工前に必ず、以下の説明をお読みください。



両側壁納めの場合

必ず1列以上の間口調整部が必要になります。すべての列に間口調整できないパーツ ※を設置することはできません。
※網棚、バスケットは間口調整部には設置できません。

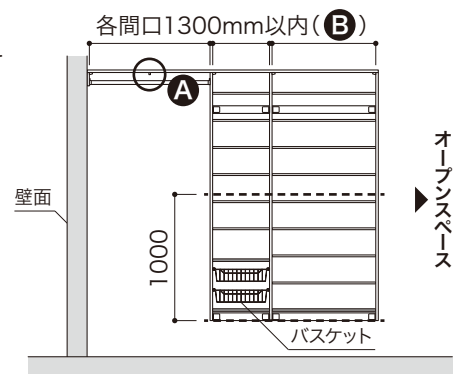


背壁棧木の設置位置について

背壁棧木は側板から側板間で納めてください。ショート側板から側板間は背壁棧木の設置は不要です。

天板・側板・ショート側板・仕切板について

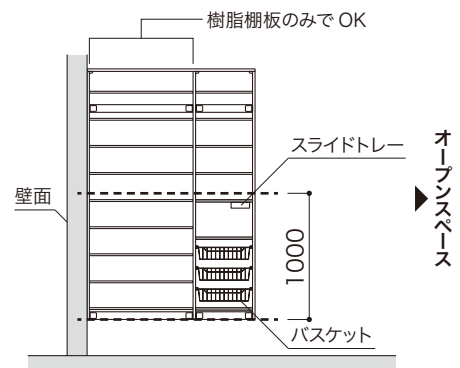
- 1列の間口が1000mmを超える場合は天板下面と壁面に樹脂金具で固定してください。(右図 A)
- 1列の間口は1300mm以内で設計してください。1300mmを超える場合は、仕切板を追加設置してください。(右図 B)
- 天板を連結する場合、天板継ぎ目部分の下部を必ず仕切板で連結し、同梱の樹脂金具で天板と仕切板を固定してください。



各棚板を設置する場合

- 片側もしくは両側にオープンスペースがある場合、1列につき必ず各棚板(固定)を1枚設置してください。
- 設置高は側板・仕切板下面から1000mm以内です。お守りいただけない場合、収納全体の寸法精度及び強度が保てない可能性があります。
- 壁または各棚板(固定)に囲まれる場合は、各棚板(固定)は設置不要で樹脂棚板だけのプランニングが可能です。

各棚板について **各棚板** 棚板/網棚の2種類があります。



バスケットを設置する場合

パーツの上下に1枚ずつ必ず各棚板(固定)が必要です。複数設置する場合は、最上段・最下段のみです。

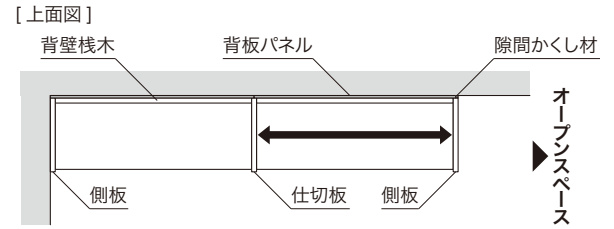
スライドトレイを設置する場合

パーツの上部に必ず棚板(固定)を設置してください。

背板パネルを設置する場合

1列の間口は背板パネルの幅寸法以内で、設置場所の納まりやプランを考慮して設置してください。背壁栈木の設置がない列には、背板パネルの取り付けはできません。

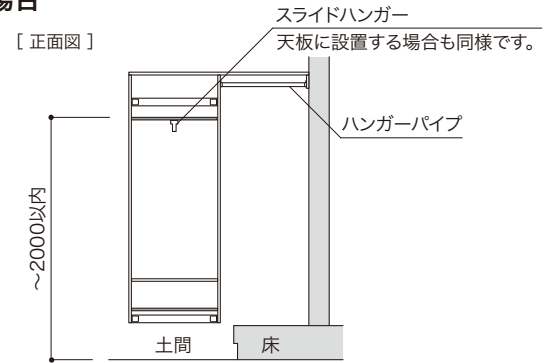
※背板パネルの木口が見える場合は隙間かくし材で納めます。



ハンガーパイプ・上吊ハンガーパイプ・スライドハンガーを設置する場合

設置高は「土間から」「床から」の2パターンを想定しています。

- ショート側板にハンガーパイプを設置する場合は、下部に床仕上げがあることを推奨します。土間に設置する場合は、身長差によって手が届かない可能性があります。
- 土間部分にハンガーパイプ・上吊ハンガーパイプ・スライドハンガーを設置する場合は、土間から2000mm以内での設置を推奨します。これ以上の設置高では、身長差によって手が届かない可能性があります。
- スライドハンガーを設置する場合は、上部に必ず天板または棚板（固定）を設置してください。

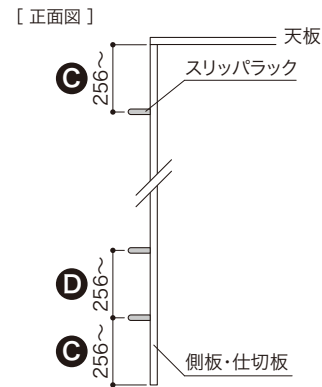


スリッパラックを設置する場合

- 側板・仕切板の上下端から、256mm以上（ダボ穴8個分）空けて設置してください。（右図 C）
- スリッパラックを複数設置する場合は、上下で256mm以上（ダボ穴8個分）間隔を空けてください。（右図 D）
- 上記の条件を満たす場合、側板・仕切板1枚あたりに最大6本まで設置可能です。

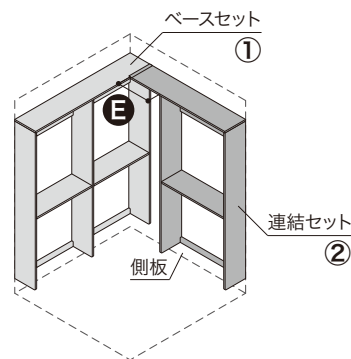
ご注意

- 壁納め側に取り付ける場合、壁に側板を固定する前にスリッパラックを取り付ける必要があります。
- 側板・仕切板を挟んで固定するので、スリッパラック設置位置の反対側のダボ穴は使用することができません。プラスアップパーツを取り付ける際は、ご注意ください。



L型プラン・U型プランの施工について

天板ジョイント部から②の側板までの幅 (E) は350~1100mmにしてください。



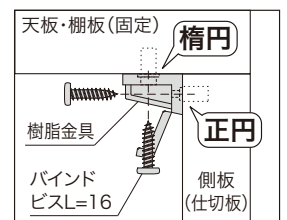
樹脂金具について

樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。

ご注意

バインドビスの締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力がなくなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。

樹脂金具 (正円) → ダボ穴/側板・仕切板
樹脂金具 (楕円) → 下穴/天板・各棚板 (固定)



施工方法には、下地固定と間柱固定があります。

間柱固定：11ページへ

下地固定：6ページ～

躯体準備 下地固定

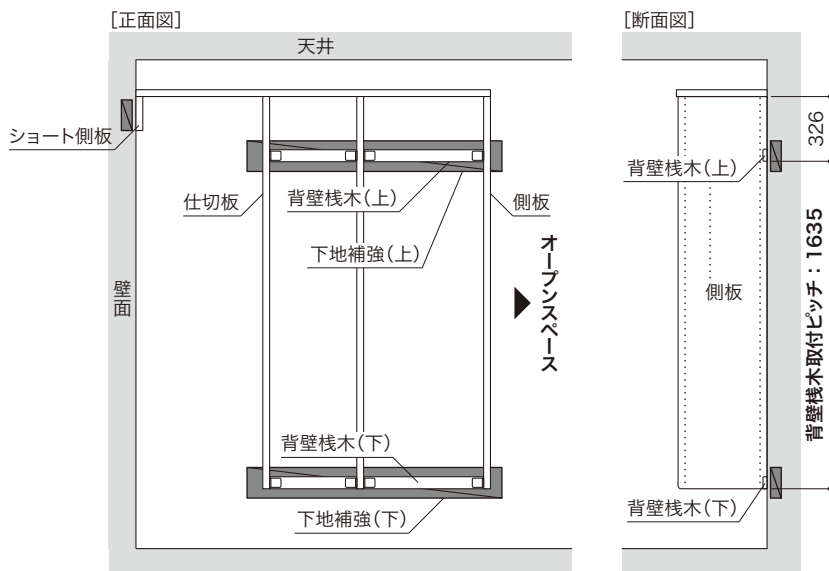
寸法単位:mm

- 施工前に躯体の垂直・直角を確認してください。
- 躯体や側板・仕切板と背壁栈木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。
- あらかじめ背壁栈木を取り付ける部分に補強栈木や、12mm厚以上の合板で下地補強をしてください。(設置位置は右図参照)
また、側板・ショート側板を壁面に取り付ける場合にも、ビスの取り付け位置に同様の補強が必要です。
- 背壁栈木の取り付けピッチを考慮して下地補強位置を決定してください。

■ : 下地補強位置

背壁栈木取り付けピッチ: 1635mm

※上下の下地補強が水平・平行に取り付いていることをご確認ください。



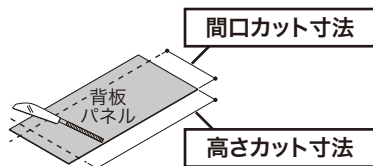
施工手順 下地固定

寸法単位:mm

1 背板パネルの取り付け(背板パネルを取り付ける場合のみ)

1 背板パネルの加工

設置場所の納まりやプランをご確認のうえ、右図を参考に背板パネルをカットしてください。

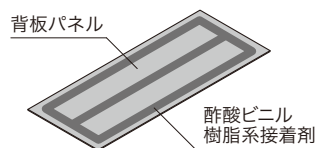


2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背板パネルの取り付け位置を墨出しします。

3 背板パネルの貼り付け

酢酸ビニル樹脂系接着剤+フィニッシュネイルまたは隠し釘(現場調達)で壁面へ背板パネルを固定してください。



ご注意

背板パネルを取り付ける場合は、クロスを貼らずに石膏ボード仕上げの上に取り付けてください。

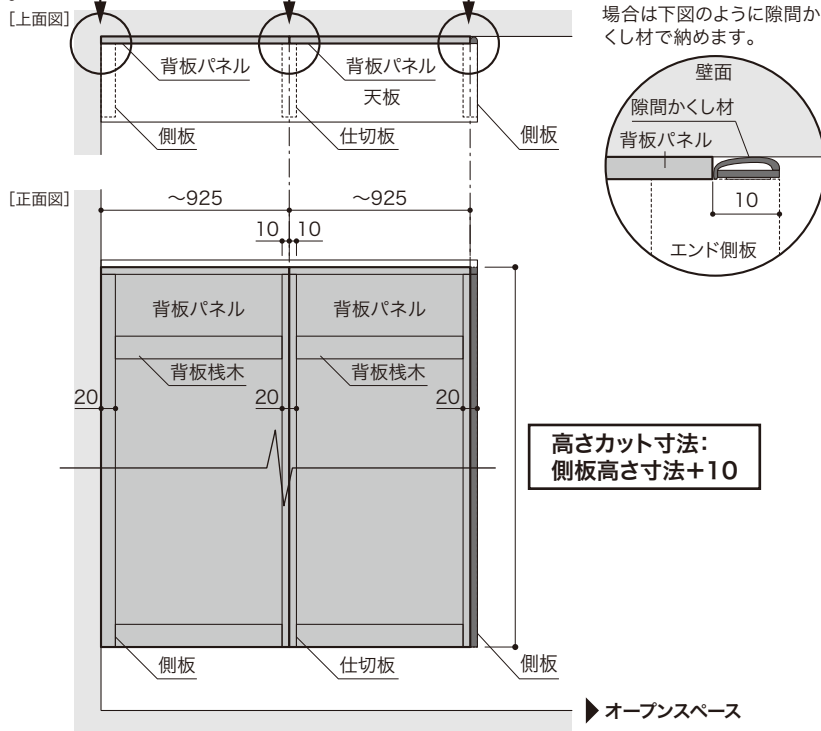
間口カット寸法: 下図を参考にカットしてください。

側壁の端に背板パネルを突き付けて納めます。

仕切板の芯で納めます。

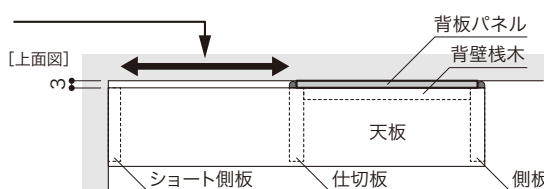
側板の芯で納めます。

※背板パネルの木口が見える場合は下図のように隙間かきし材で納めます。



背壁栈木の設置がない列には、背板パネルの取り付けはできません。

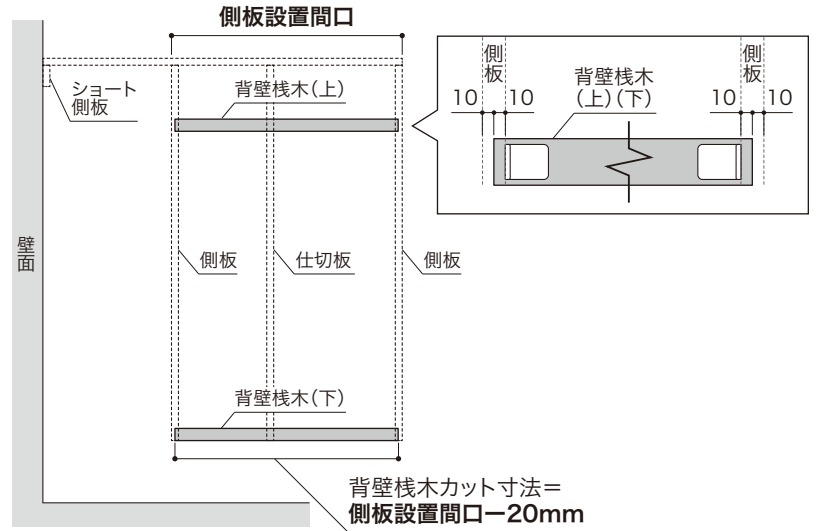
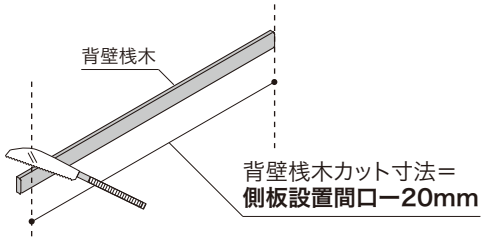
※背板パネルを設置しない列がある場合、天板は背壁から3mm間隔が空きます。



2 背壁栈木の取り付け

1 背壁栈木のカット

設置プランを確認後、背壁栈木をカットします。
(背壁栈木カット寸法:右図参照)

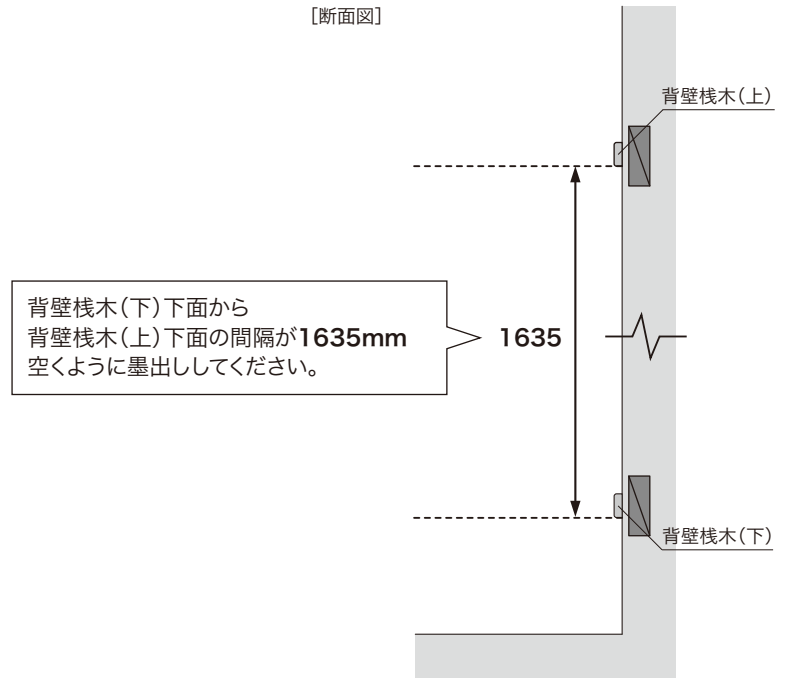


2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背壁栈木の取り付け位置を墨出しします。

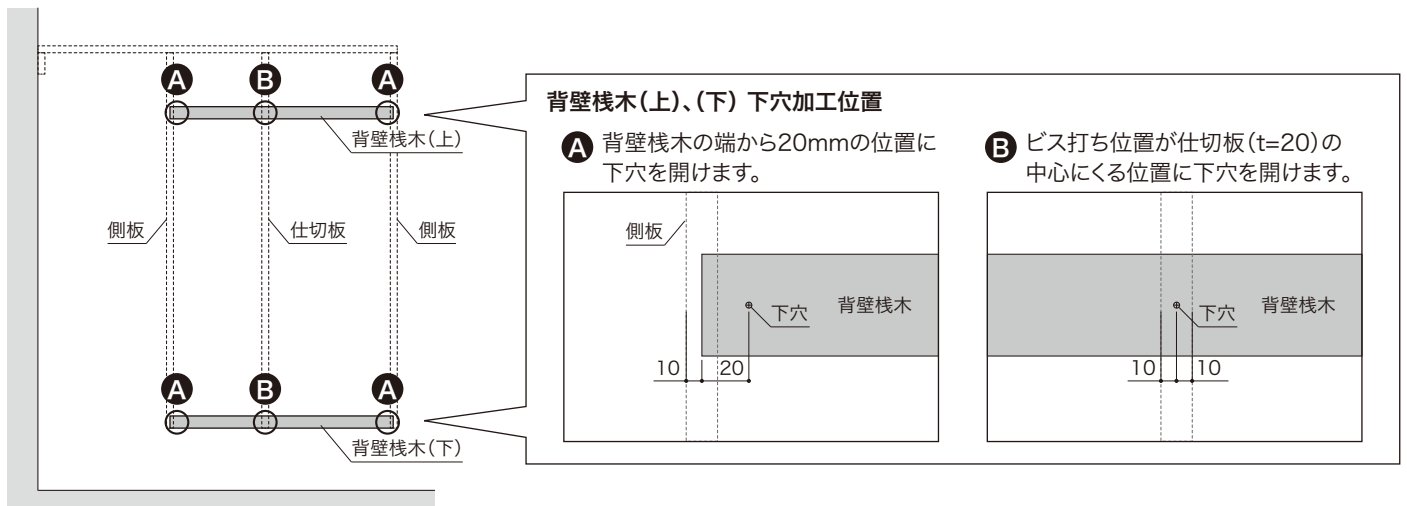
床面と背壁栈木が水平になることをご確認ください。

[断面図]



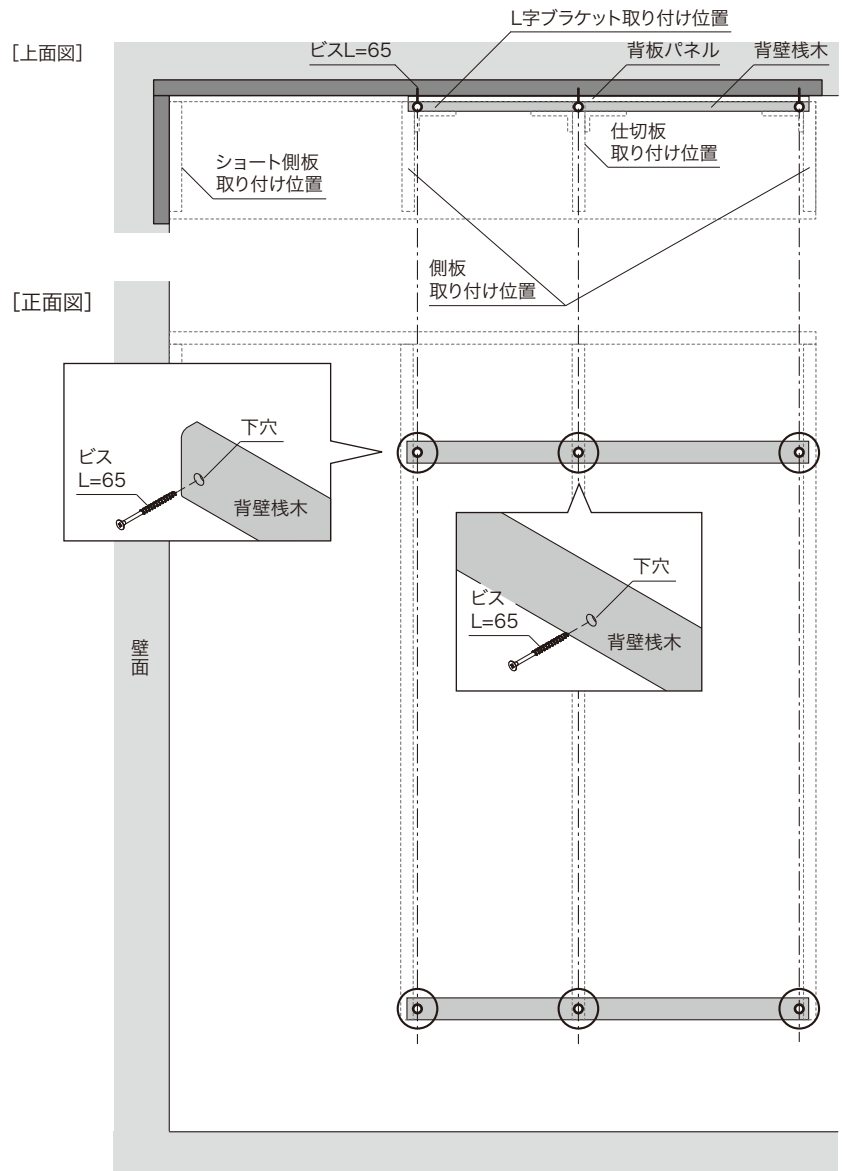
3 下穴加工

ビス頭が飛び出ないようにビスL=65を打つ位置に4mmのキリで下穴を開けます。(下穴加工位置:下図参照)



4 背壁栈木の取り付け

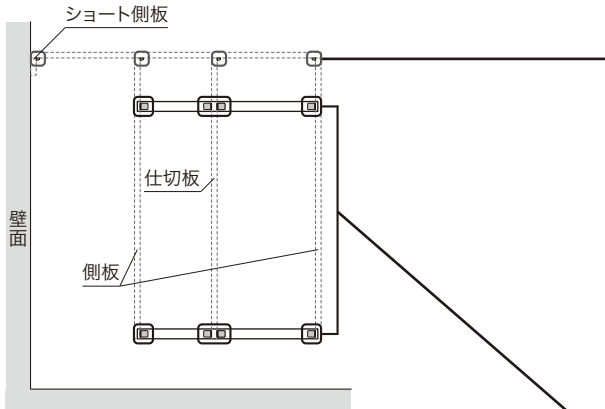
下穴に向かってビスL=65で背壁栈木を壁に固定します。
 その際、ビス頭が飛び出さないようにしてください。



3 ショート側板・側板・仕切板へ金具の取り付け

それぞれ金具の取り付け方向にご確認ください。

ショート側板・側板・仕切板に各金具を取り付けてください。

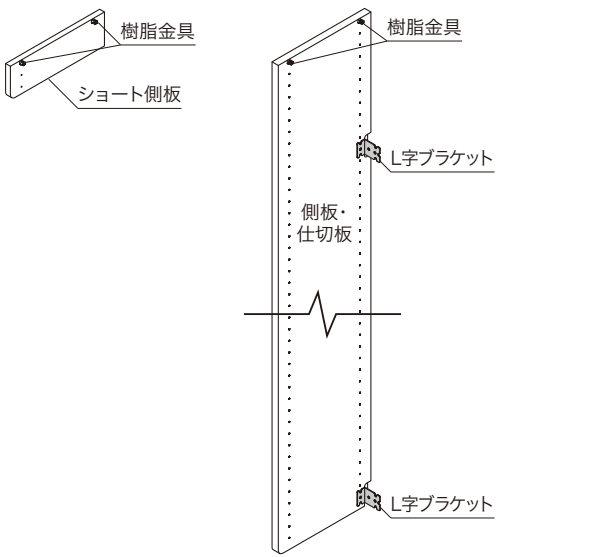


樹脂金具 上から1番目のダボ穴、前後2箇所樹脂金具を取り付けます。樹脂金具の正円に向かってバインドビスL=16で固定してください。

注意 バインドビスの締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力がなくなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。

側板・仕切板 [正面図] **片面**

仕切板 (1型プランの天井を連結する場合) [正面図] **両面**



L字ブラケット 上側: 切り欠き部分ダボ穴、下側: 1番下のダボ穴に固定してください。

側板 [片面] [正面図] **片面**

1箇所 システムビスL=13.5

仕切板 [両面] [正面図] **両面**

1箇所 システムビスL=13.5

注意

スリッパラックを壁納め側に設置する場合: 壁に側板を固定する前にスリッパラックを取り付ける必要があります。



4 ショート側板・側板の取り付け

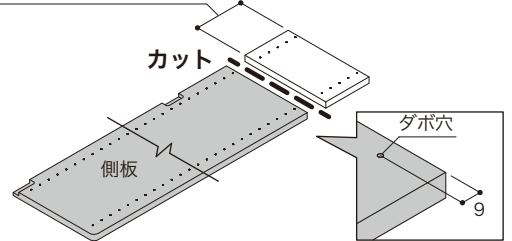
側板と背壁桟木が垂直になることをご確認ください。

カットする場合(側板のみ)

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。

注意 必ずエッジテープ側からカットしてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

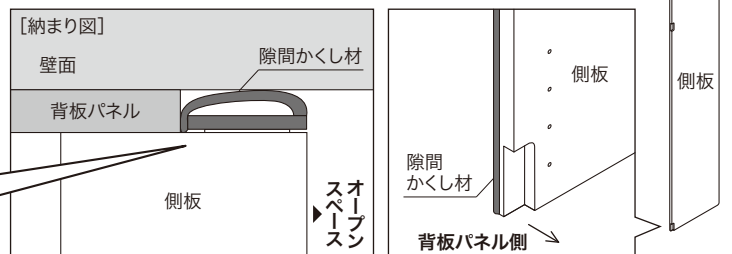
上側から192mmまでカット可能



1 側板へ隙間かくし材の貼り付け(背板パネルを設置する場合 ※オープンスペースを設ける場合のみ)

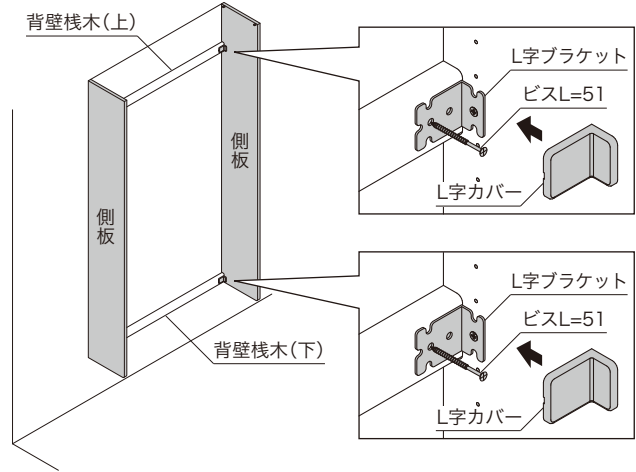
側板の長さに合わせて隙間かくし材をカットした後、両面テープを剥がしてオープンスペースへ設置する側板の指定位置へ貼り付けます。

注意 隙間かくし材には貼り付け向きがあります。右図を参考に貼り付けてください。



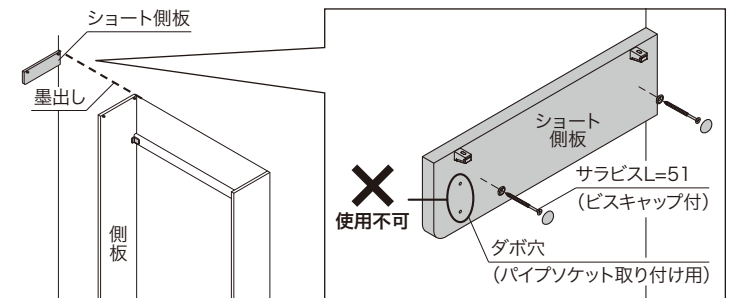
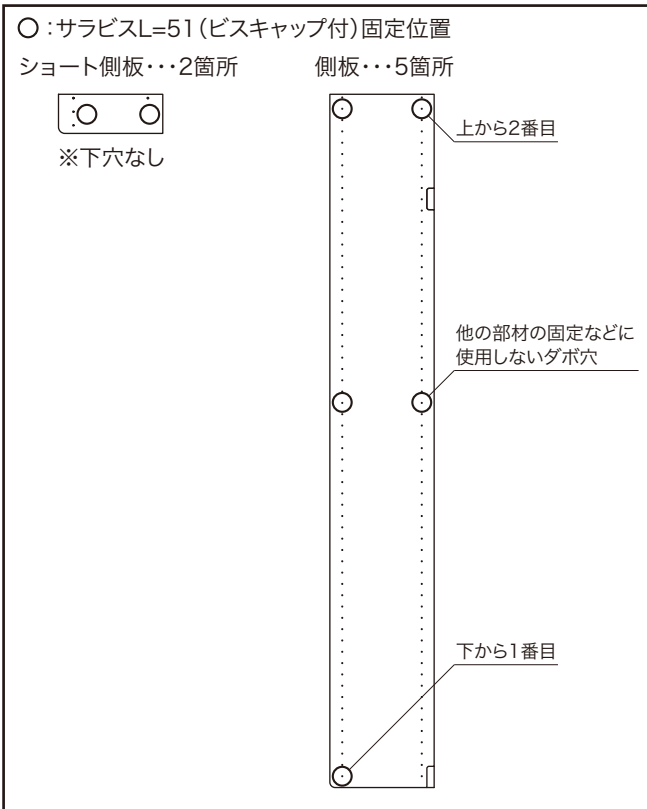
2 背壁栈木へ側板を取り付け

背壁栈木に側板の切り欠きを引っ掛け、L字ブラケットをビスL=51で固定しL字カバーを取り付けます。

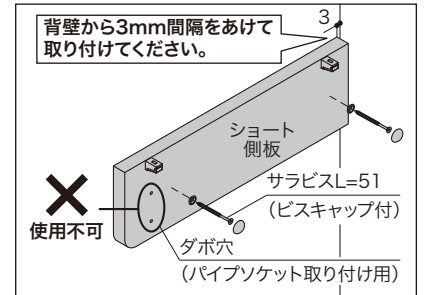


3 壁面へ側板・ショート側板の固定 (両側壁納め 片側オープン の場合のみ)

壁面に接するショート側板・側板を壁に固定します。
 ショート側板を固定する場合は、側板と水平になるように取り付け位置を墨出しし、施工を行なってください。
 ショート側板・側板を躯体にサラビスL=51で固定し、ビスキャップを取り付けます。



背板パネルを取り付ける場合



注意

- 必ず下地のある位置で固定してください。
- ショート側板の場合
 ショート側板はオープン側に設置できません。
 また、サラビスL=51の取り付け用ダボ穴はありません。
 パイプ取り付け用のダボ穴を使用しないようご注意ください。
- 側板の場合
 サラビスL=51を取り付けるダボ穴は、上部:上から2番目、下部:下から1番目、中央部:他の部材の固定などに使用しないダボ穴を選んでください。

躯体準備 間柱固定

寸法単位:mm

●施工前に躯体の垂直・直角、柱・間柱・添木の位置を確認してください。

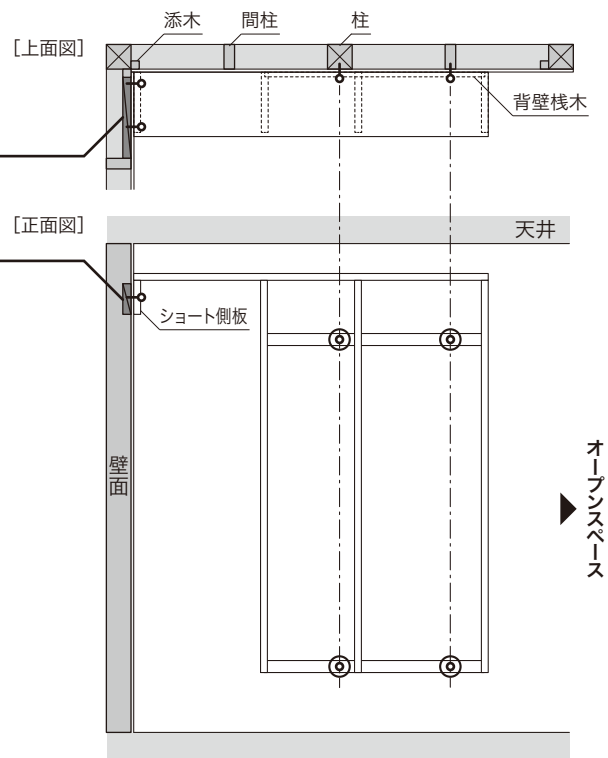
○ :ビス固定位置(柱・間柱・添木)

●躯体や側板・仕切板と背壁栈木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。

ショート側板を設置する場合

あらかじめショート側板のビス取り付け位置に補強栈木または12mm厚以上の合板で下地補強をしてください。(設置位置は右図参照)

■ :下地補強位置



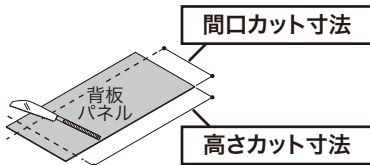
施工手順 間柱固定

寸法単位:mm

1 背板パネルの取り付け(背板パネルを取り付ける場合のみ)

1 背板パネルの加工

設置場所の納まりやプランをご確認のうえ、右図を参考に背板パネルをカットしてください。

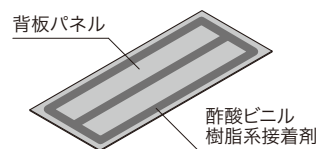


2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背板パネルの取り付け位置を墨出しします。

3 背板パネルの貼り付け

酢酸ビニル樹脂系接着剤+フィニッシュネイルまたは隠し釘(現場調達)で壁面へ背板パネルを固定してください。



注意

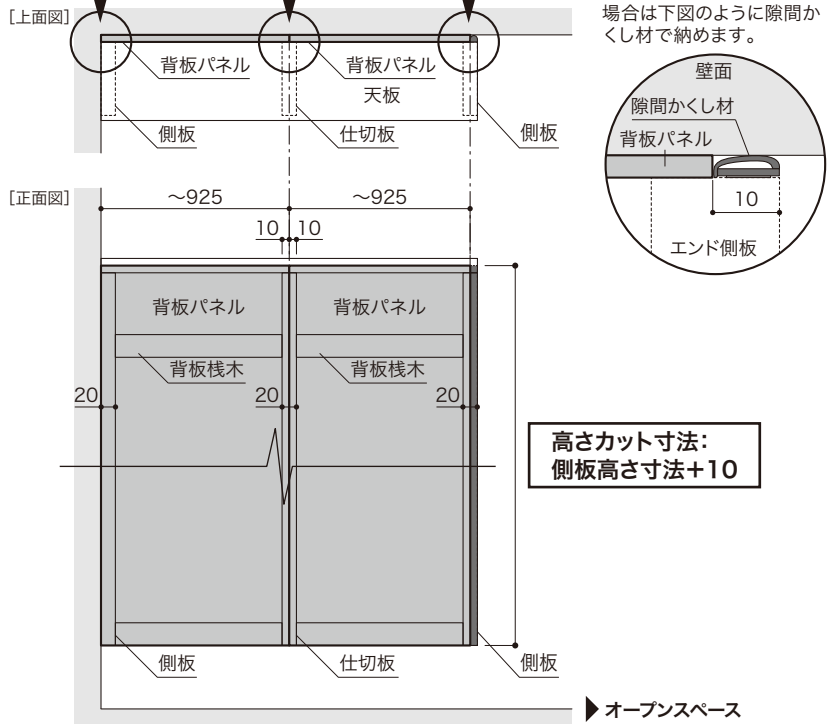
背板パネルを取り付ける場合は、クロスを貼らずに石膏ボード仕上げの上に取り付けてください。

間口カット寸法:下図を参考にカットしてください。

側壁の端に背板パネルを突き付けて納めます。

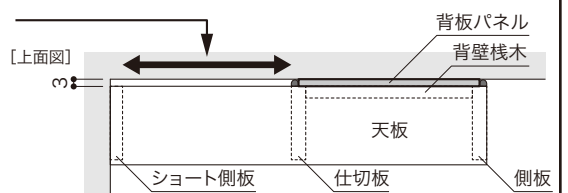
仕切板の芯で納めます。

側板の芯で納めます。
※背板パネルの口が見える場合は下図のように隙間かかし材で納めます。



背壁栈木の設置がない列には、背板パネルの取り付けはできません。

※背板パネルを設置しない列がある場合、天板は背壁から3mm間隔が空きます。

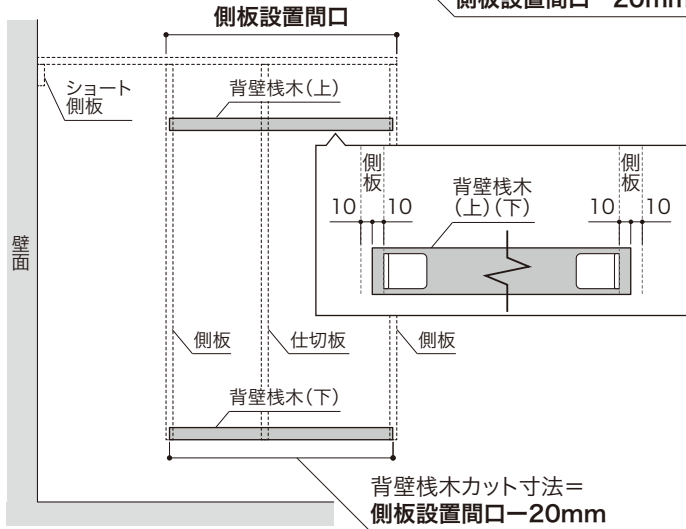
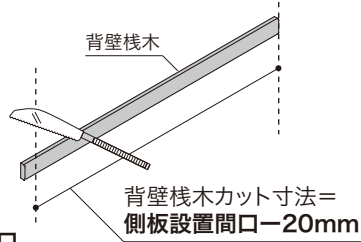


2 背壁栈木の取り付け

1 背壁栈木のカット

設置プランを確認後、背壁栈木をカットします。

(背壁栈木カット寸法:右図参照)

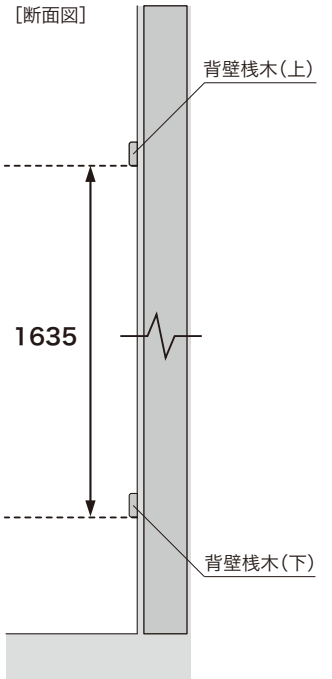


2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背壁栈木の取り付け位置を墨出しします。

床面と背壁栈木が水平になることをご確認ください。

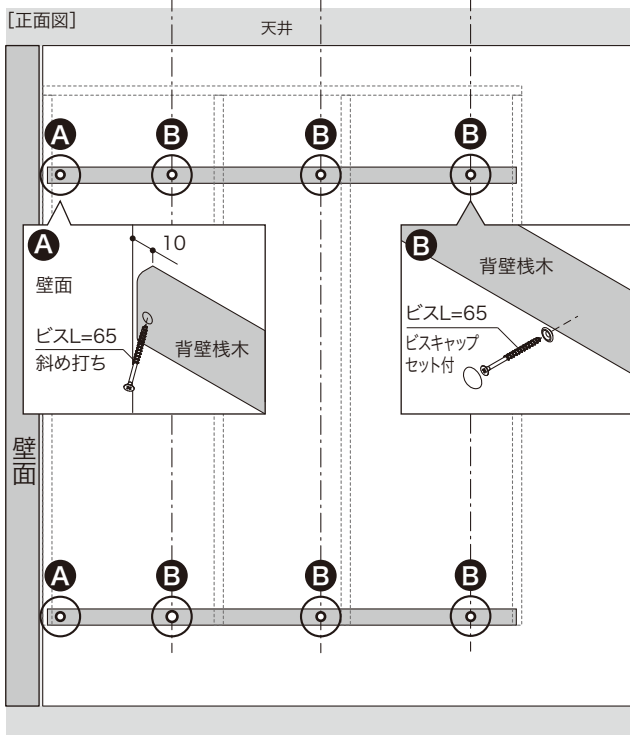
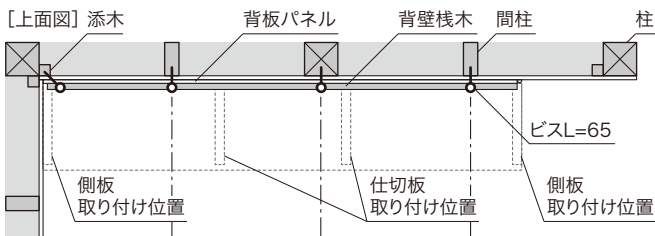
背壁栈木(下)下面から背壁栈木(上)下面の間隔が1635mm空くように墨出ししてください。



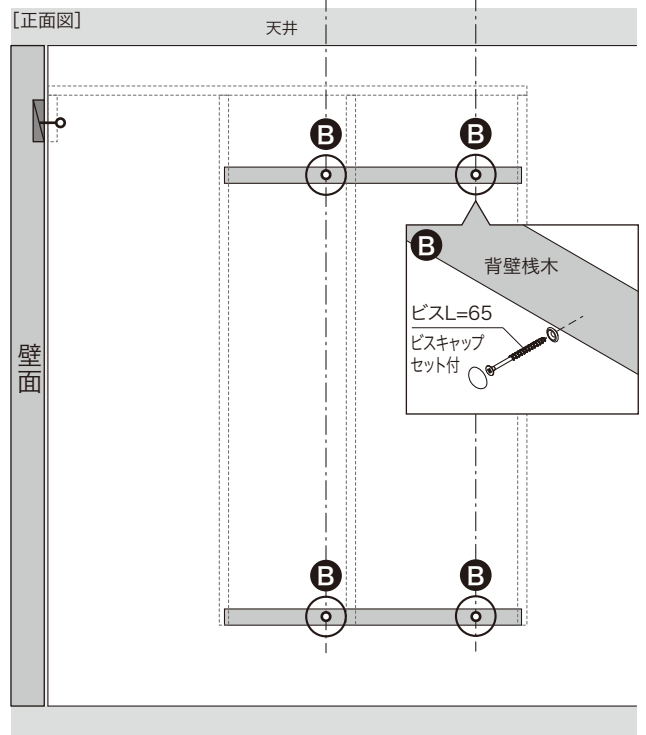
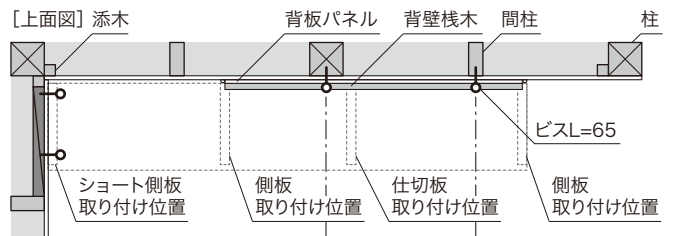
3 背壁栈木の取り付け

柱・間柱・添木に向かってビスL=65で背壁栈木を壁に固定します。添木へビス打ちする際は、下穴加工を行ない、ビス頭が飛び出さないようにしてください。

■側板⇄側板

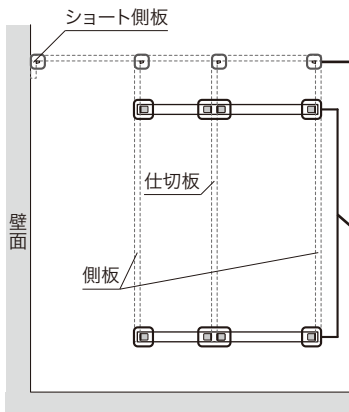


■ショート側板⇄側板



3 ショート側板・側板・仕切板へ金具の取り付け それぞれ金具の取り付け方向にご注意ください。

ショート側板・側板・仕切板に各金具を取り付けてください。

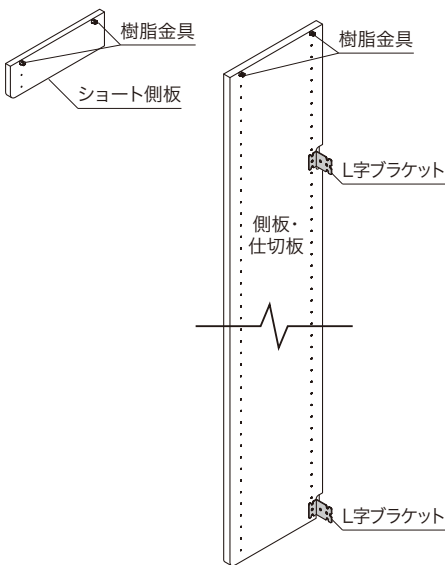


樹脂金具 上から1番目のダボ穴、前後2箇所樹脂金具を取り付けます。樹脂金具の正円に向かってバインドビスL=16で固定してください。

ご注意
バインドビスの締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力がなくなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。

側板・仕切板
[正面図]
片面

仕切板 (1型プランの天井を連結する場合)
[正面図]
両面



L字ブラケット 上側: 切り欠き部分ダボ穴、下側: 1番下のダボ穴に固定してください。

側板 片面
1箇所
システムビスL=13.5
[正面図]
片面

仕切板 両面
1箇所
システムビスL=13.5
[正面図]
両面

ご注意

スリッパラックを壁納め側に設置する場合:
壁に側板を固定する前にスリッパラックを取り付ける必要があります。



4 ショート側板・側板の取り付け

側板と背壁桟木が垂直になることをご確認ください。

カットする場合(側板のみ)

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。

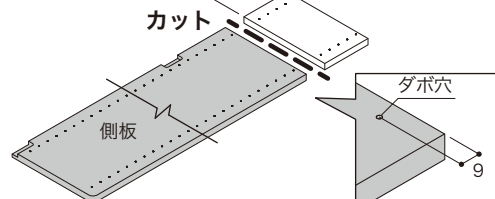
注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



上側から192mmまでカット可能

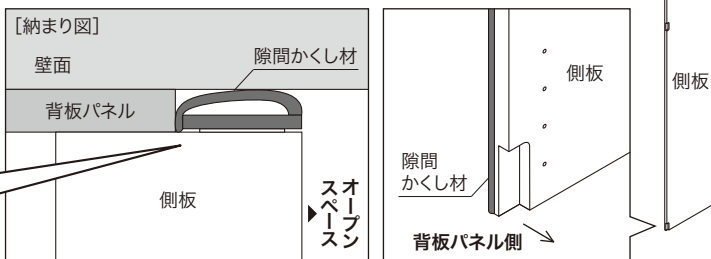
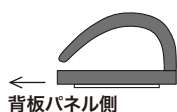


1 側板へ隙間かくし材の貼り付け(背板パネルを設置する場合 ※オープンスペースを設ける場合のみ)

側板の長さに合わせて隙間かくし材をカットした後、両面テープを剥がしてオープンスペースへ設置する側板の指定位置へ貼り付けます。

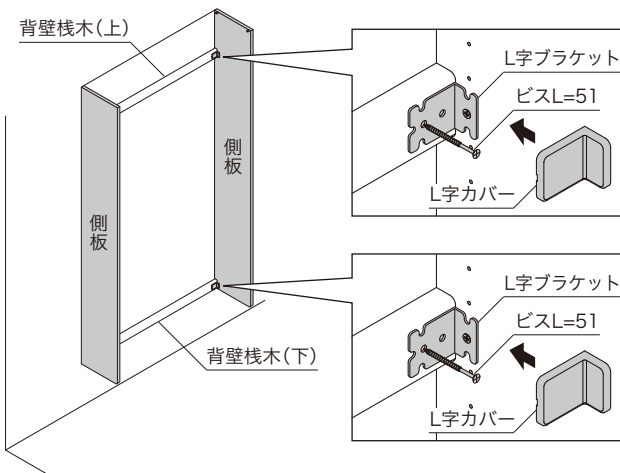
注意

隙間かくし材には貼り付け向きがあります。右図を参考に貼り付けてください。



2 背壁桟木へ側板を取り付け

背壁桟木に側板の切り欠きを引っ掛け、L字ブラケットをビスL=51で固定しL字カバーを取り付けます。同梱されているエッジテープは天板の木口部分に貼ってください。



3 壁面へショート側板の固定(両側壁納め 片側オープン の場合のみ)

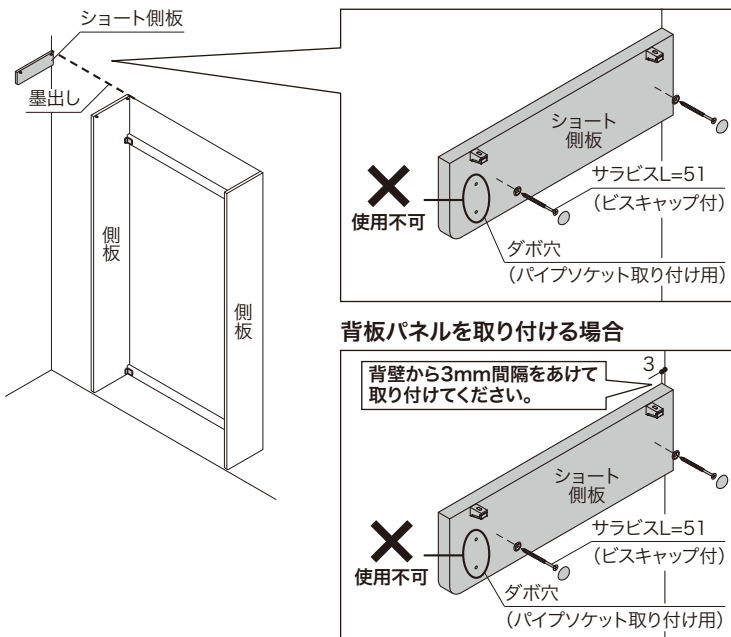
側板と水平になるように取り付け位置を墨出しし、ショート側板を躯体にサラビスL=51で固定し、ビスキャップを取り付けます。

○:サラビスL=51(ビスキャップ付)固定位置

※下穴なし

注意

- 必ず下地のある位置で固定してください。
- ショート側板はオープン側に設置できません。また、サラビスL=51の取り付け用ダボ穴はありません。パイプ取り付け用のダボ穴を使用しないようご注意ください。



5 仕切板の取り付け

仕切板と背壁桟木が垂直になることをご確認ください。

カットする場合

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。

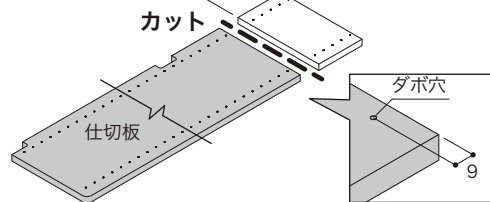
注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



上側から192mmまでカット可能

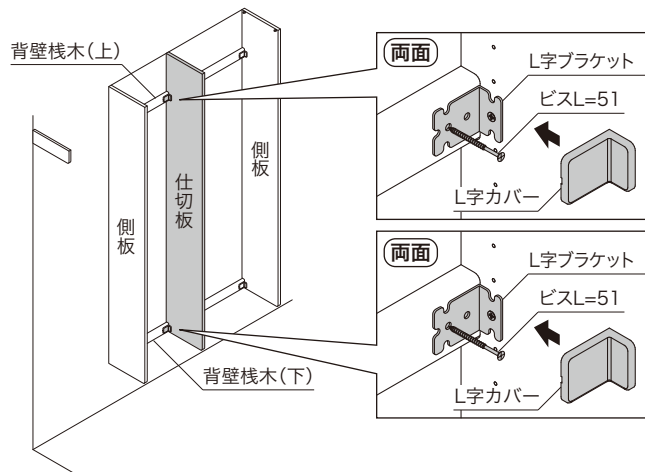


1 取り付け位置の墨出し

設置予定部材の寸法を測り、仕切板の固定位置を墨出しします。

2 背壁桟木へ仕切板を取り付け

背壁桟木(上)・(下)に仕切板の切り欠きを引っ掛け、L字ブラケットをビスL=51で固定しL字カバーを取り付けます。仕切板は両面固定してください。



6 天板の取り付け

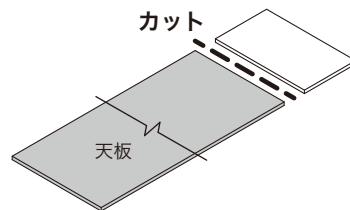
カットする場合

設置位置の寸法にカットしてください。

注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

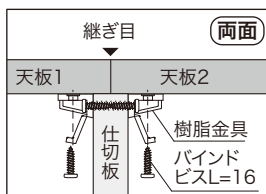


天板を各側板・仕切板上部両端にあるダボ穴に樹脂金具を使って固定してください。

樹脂金具固定位置:前後2箇所

天板を連結する場合

2枚目の天板を図のように仕切板上部で連結し、両側を樹脂金具で固定してください。

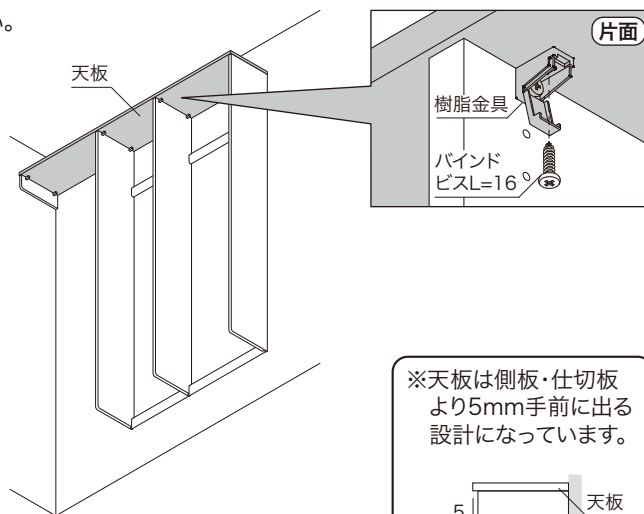
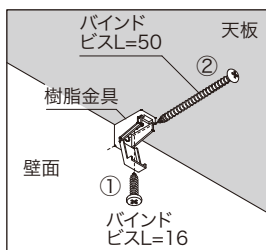


1列の間口が1000mmを超える場合

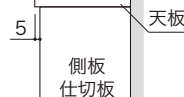
天板下面を間柱もしくは補強桟木のある壁面に樹脂金具で固定してください。

注意

- 壁面は必ず下地のある位置で固定してください。
- 壁面への固定はバインドビスL=50を使用してください。



※天板は側板・仕切板より5mm手前に入る設計になっています。



7 スライドトレイの取り付け

ご注意

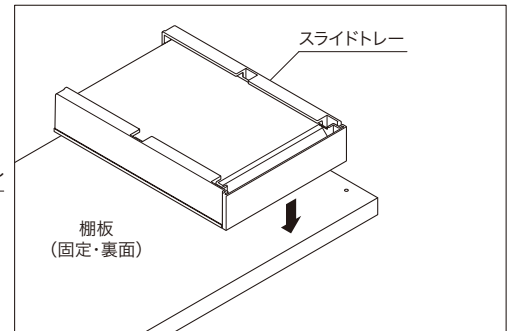
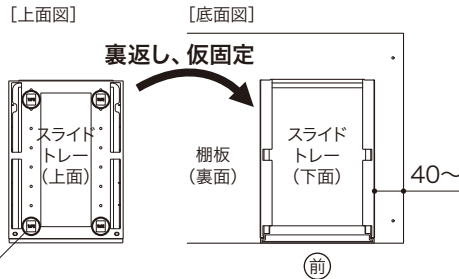
スライドトレイは必ず木質の棚板(固定)に取り付けてください。

1 両面テープで仮固定

スライドトレイ上部の「TAPE」刻印(4箇所)に両面テープを貼り付けてください。その後、スライドトレイを棚板の端から40mm以上離し、前面から飛び出さない位置に仮固定してください。

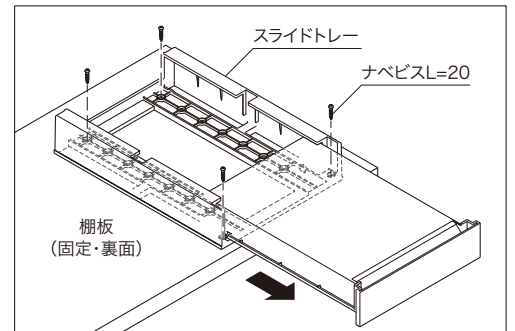
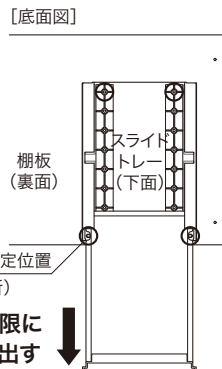


両面テープ貼り付け位置(4箇所)



2 ビスにて本固定

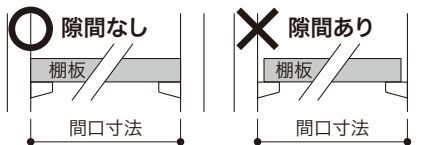
仕上がり位置を確認のうえ、引出し部分を最大限に引き出し、棚板に向かってナベビスL=20で本固定してください。



8 各棚板(固定)の取り付け

カットする場合(棚板のみ)

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。



ご注意

- 必ずエッジテープ側からカットしてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。
- 網棚はカットできません。

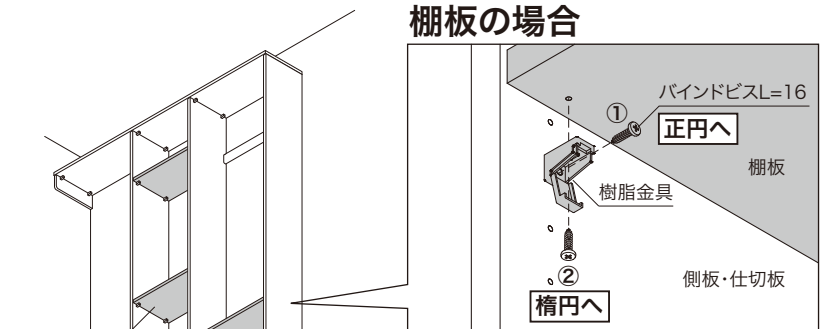


樹脂金具の正円側をバインドビスL=16で側板・仕切板へ取り付けてください。その後、指定のビスで各棚板を固定してください。

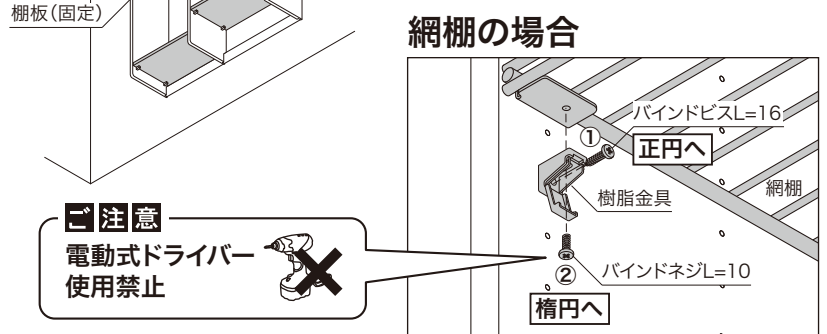
ご注意

- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

樹脂金具固定位置・・・前後2箇所×左右



棚板の場合



網棚の場合

ご注意

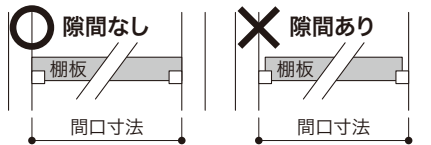
電動式ドライバー使用禁止

9 各棚板(可動)の取り付け

躯体や側板・仕切板と背壁棧木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。

カットする場合(棚板のみ)

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。



ご注意

- 必ずエッジテープ側からカットしてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。
- 網棚はカットできません。

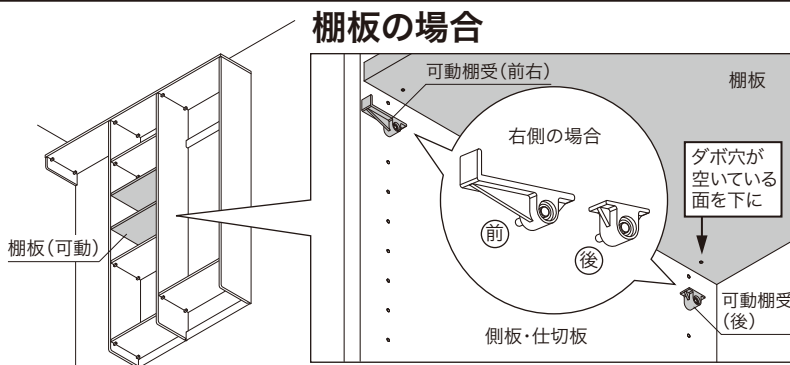


可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込み、各棚板をのせてください。
※可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

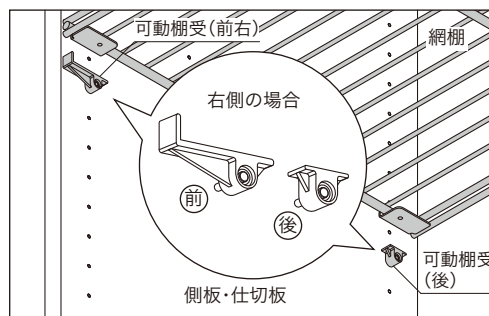
ご注意

- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

可動棚受取付位置・・・前後2箇所×左右



網棚の場合



10 樹脂棚板の取り付け

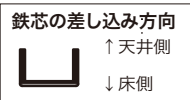
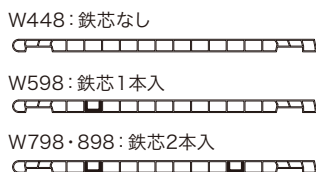
カットする場合

樹脂棚板は電動丸ノコでカットしてください。

W598・W798・W898には鉄芯が入っています。鉄芯を樹脂棚板から抜き取り、高速カッターでカットします。

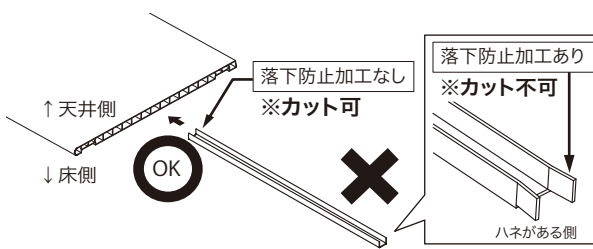
両方をカットした後、樹脂棚板の元の位置に鉄芯をはめ込みます。

※樹脂棚板のカット寸法にあわせて、鉄芯のカットが必要となる場合があります。



ご注意

鉄芯は必ず、落下防止加工なし側をカットしてください。

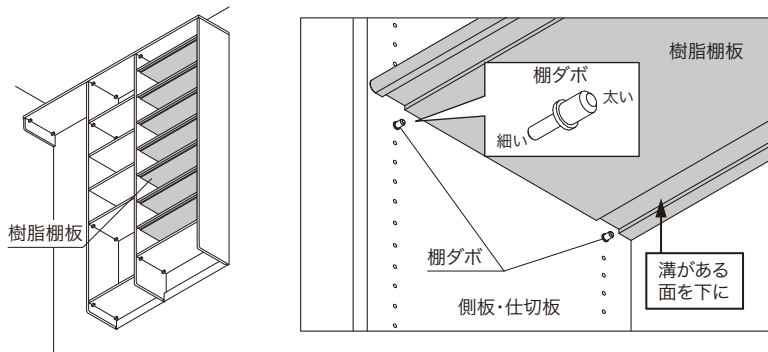


棚ダボの円柱が細い方をシステム穴に差し込み、その上に樹脂棚板をのせてください。

ご注意

使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

棚ダボ取付位置・・・前後2箇所×左右



11 上吊ハンガーパイプの取り付け

取り付け位置詳細：22ページ～

ご注意

上吊ハンガーパイプは必ず木質の棚板、または樹脂棚板に取り付けてください。

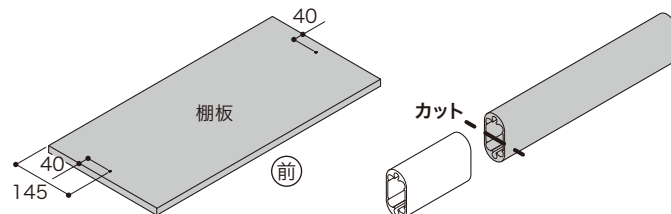
棚板(固定・可動)へ取り付ける場合

1 下穴加工

右図を参考に、ブラケットの取り付け位置に5mmのキリで下穴を開けます。
棚板の間口をカットした場合は、パイプも同寸法分カットしてください。

ご注意

パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。

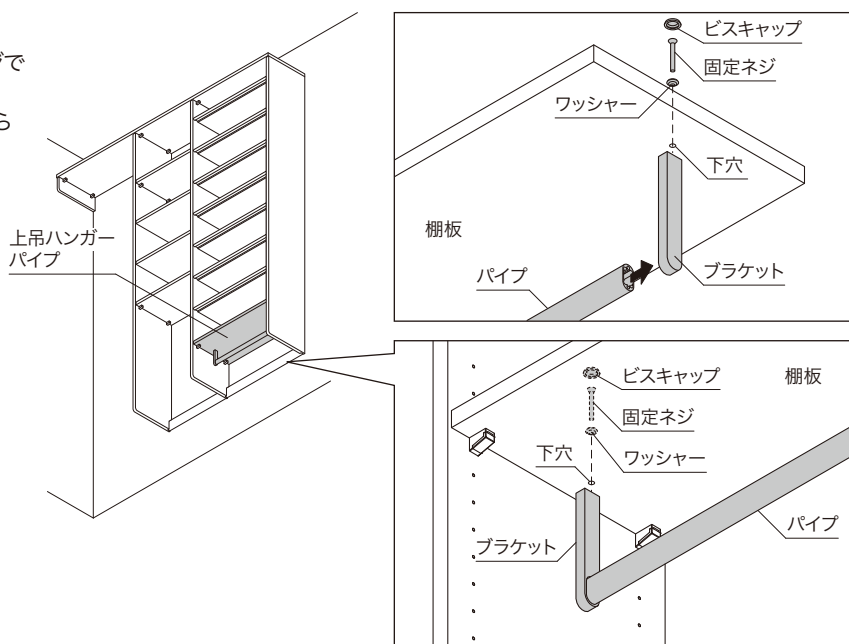


2 パイプの取り付け

下穴に向かってブラケットを取り付け、棚板上部から固定ネジで固定します。その後、パイプをブラケットに差し込みます。
次に、もう片方のブラケットをパイプへ差し込み、棚板上部から固定ネジで固定します。

ご注意

電動式ドライバー使用禁止



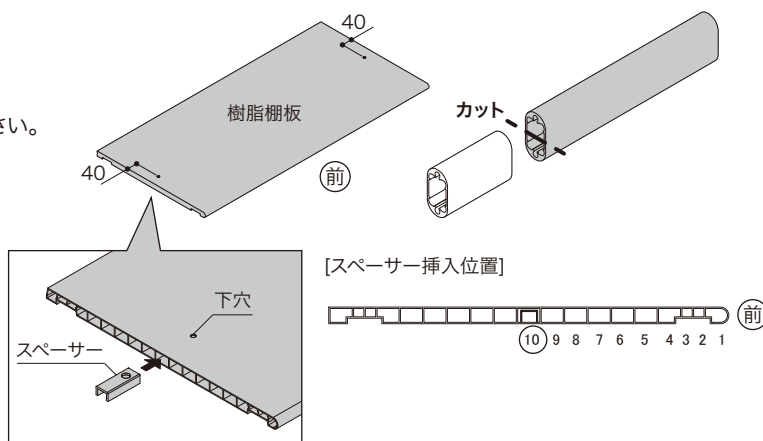
樹脂棚板へ取り付ける場合

1 スペーサーの取り付け・下穴加工

スペーサーを右図の挿入位置に差し込んでください。
ブラケットの取り付け位置に5mmのキリで下穴を開けます。
樹脂棚板の間口をカットした場合は、パイプも同寸法分カットしてください。

ご注意

- スペーサーの上下と差し込み向きに注意してください。
- パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。

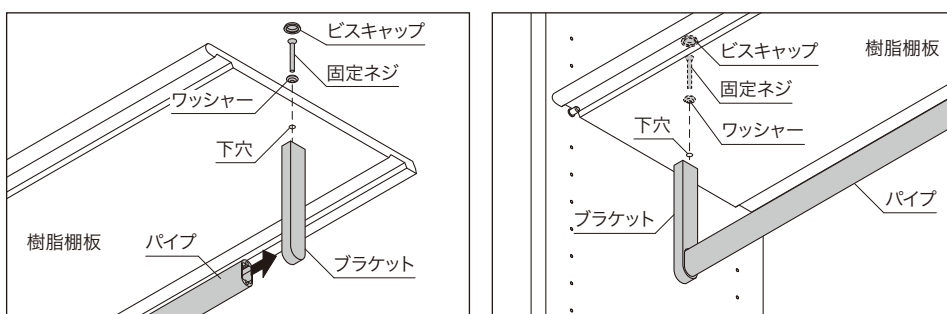


2 パイプの取り付け

下穴に向かってブラケットを取り付け、樹脂棚板上部から固定ネジで固定します。その後、パイプをブラケットに差し込みます。
次に、もう片方のブラケットをパイプへ差し込み、樹脂棚板上部から固定ネジで固定します。

ご注意

電動式ドライバー使用禁止



12 ハンガーパイプ・ハンガーパイプフックの取り付け

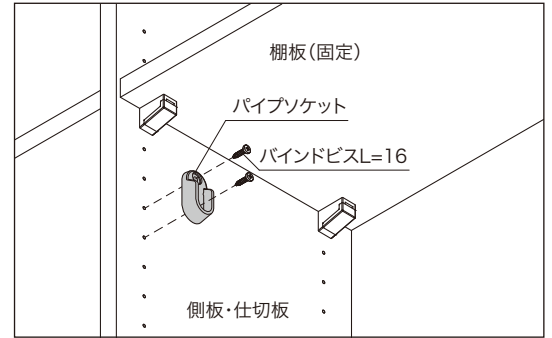
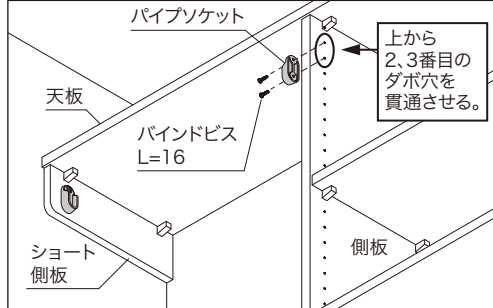
取り付け位置詳細：22ページ～

1 パイプソケットの取り付け

側板・仕切板のダボ穴にバインドビスL=16で固定してください。

ショート側板、側板間にハンガーパイプを取り付ける場合

側板の上から2、3番目のダボ穴をφ2.5のキリを使って貫通させ、上記と同様の手順でパイプソケットをショート側板、側板へ固定してください。

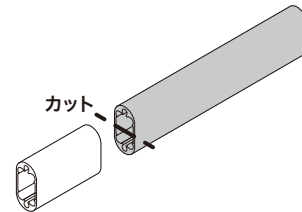


2 パイプのカット

取り付ける列の間口寸法からソケット厚(両側あわせて15mm)を差し引いた寸法にパイプをカットしてください。

ご注意

パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。

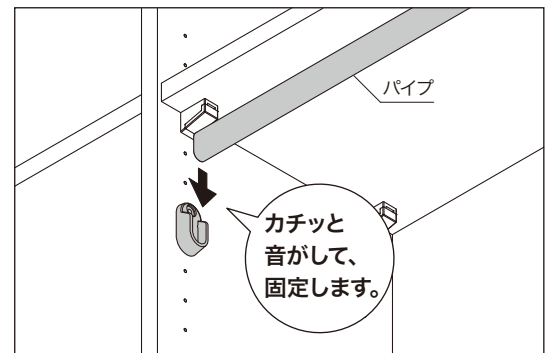
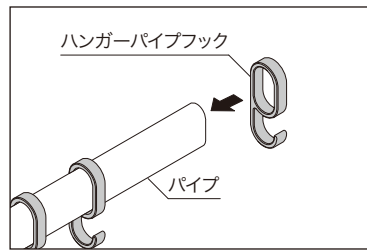


3 パイプの取り付け

パイプソケットにパイプを取り付けてください。

ハンガーパイプフックを取り付ける場合

ハンガーパイプにハンガーパイプフックを通してから、パイプを取り付けてください。

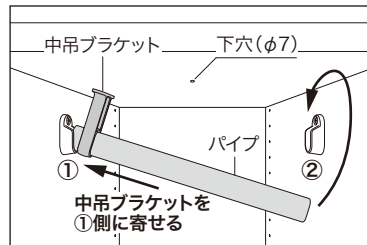


ハンガーパイプを設置する列の間口が900mmを超える場合

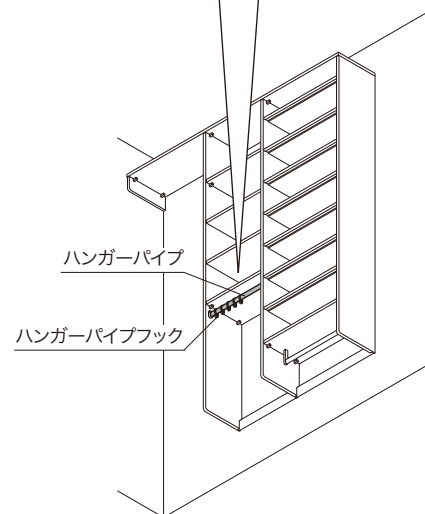
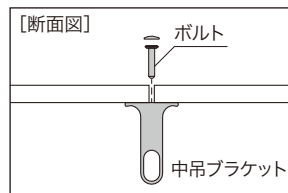
中吊ブラケットでの補強が必要です。

中吊ブラケット取り付け位置に7mmの下穴をあけてください。

パイプに中吊ブラケットを通してから右図のように取り付けてください。



下穴をあけた位置へ中吊ブラケットを移動させ、上からボルトで固定し、ビスキャップを取り付けてください。



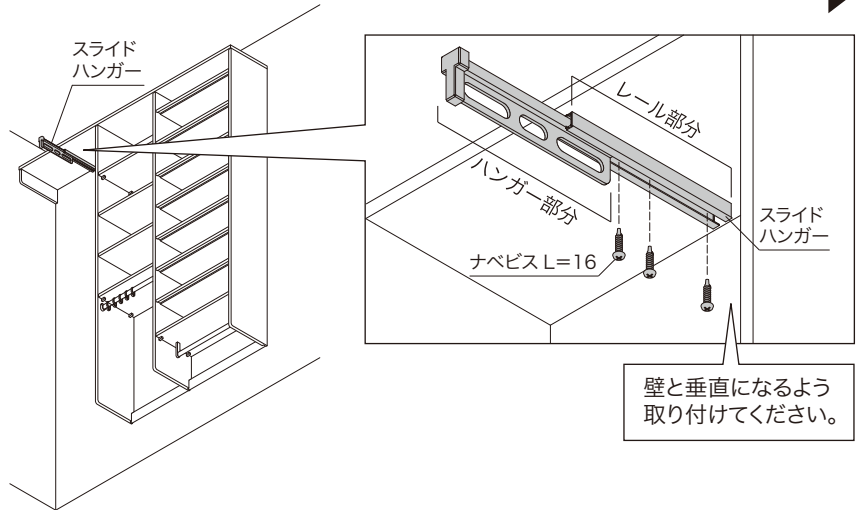
13 スライドハンガーの取り付け

取り付け位置詳細：22ページ～

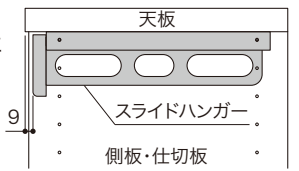
ハンガー部分を最大限に引き出し、天板・棚板(固定)に向かってレール部分を3箇所、ナベビスL=16で固定します。

ご注意

- 棚板(可動)・樹脂棚板には取り付けできません。
- 設置には600mm以上の間口が必要です。
- 列の間口のセンターに施工してください。



天板前面から9mm程度あけて壁面と直角になるように取り付け



14 バスケットの取り付け

取り付け位置詳細：22ページ～

ご注意

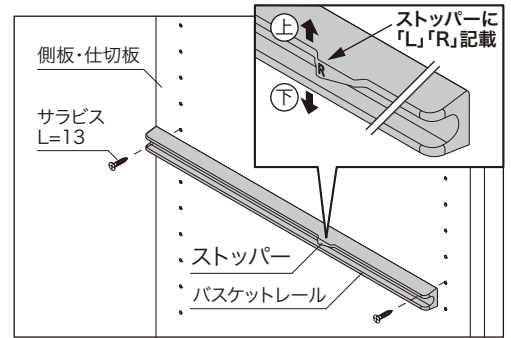
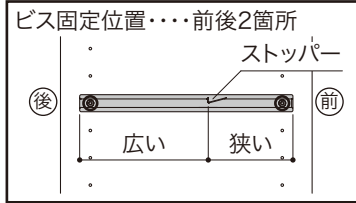
バスケットの上下には必ず棚板(固定)・網棚(固定)のいずれかを取り付けてください。複数設置する場合は、最上段・最下段のみです。

1 バスケットレールの取り付け

側板・仕切板へサラビスL=13を使って図のように固定してください。レールの上下間隔は、ダボ穴5個以上あけて設置してください。

ご注意

- バスケットレールには左用・右用があります。間違いのないように注意してください。
- ビスを強く締めすぎないようにしてください。バスケットレールが破損するおそれがあります。

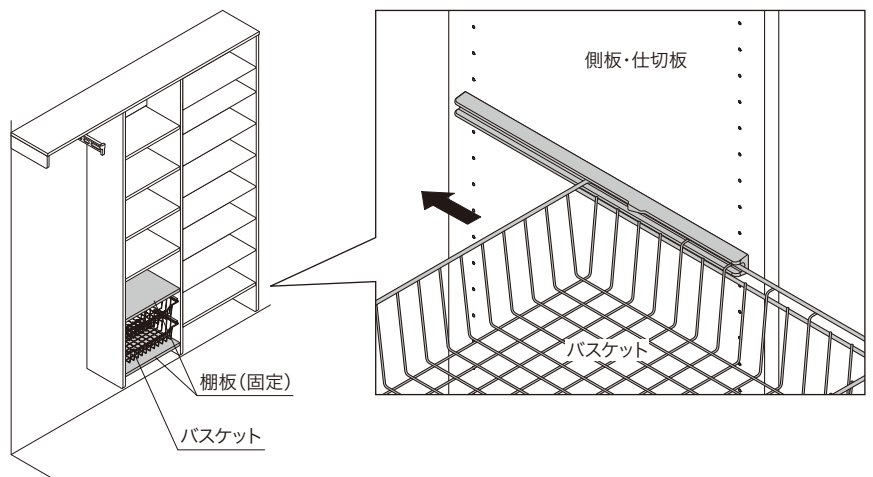
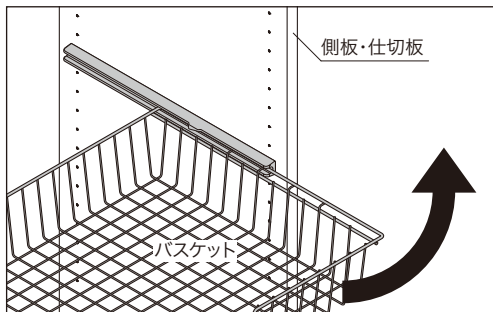


2 バスケットの差し込み

バスケットレールにバスケットを差し込んでください。

バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。



15 スリッパラックの取り付け

取り付け位置詳細: 22ページ~


1 ダボ穴加工 (側板に取り付ける場合のみ)

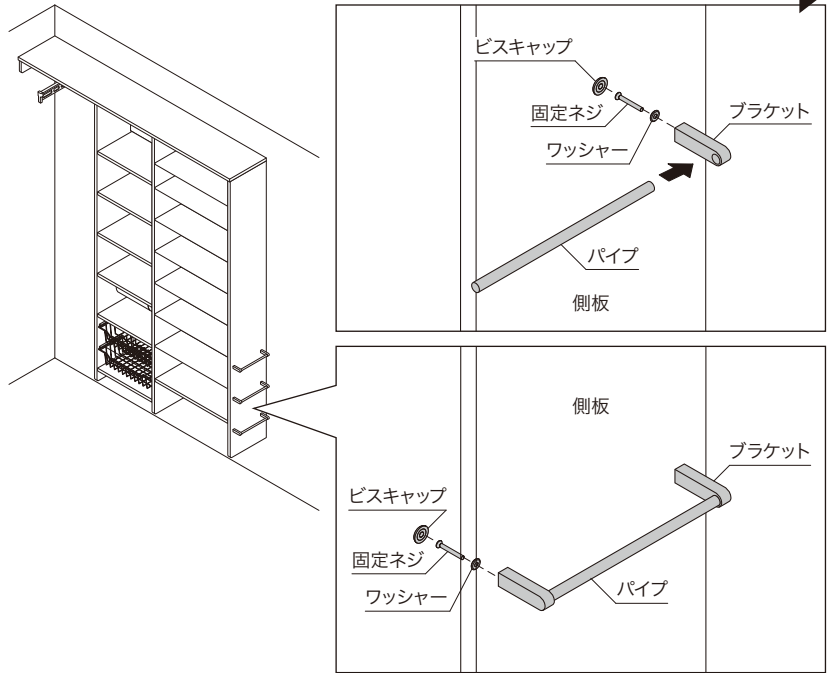
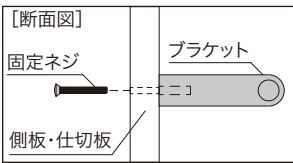
ブラケットの取り付け位置のダボ穴をに5mmのキリで貫通してください。

2 パイプの取り付け

ブラケットを側板・仕切板を挟んで反対側から固定ネジで固定します。その後、パイプをブラケットに差し込みます。次に、もう片方のブラケットをパイプへ差し込み、側板・仕切板を挟んで反対側から固定ネジで固定します。

ご注意

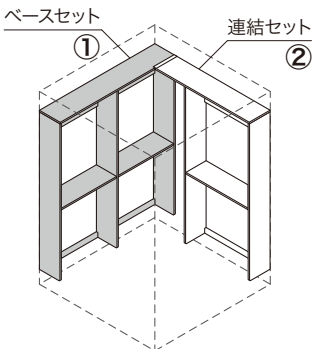
- 電動式ドライバー使用禁止 
- スリッパラックを壁納め側に設置する場合、ビスキャップ・ワッシャーは不要です。ビスが飛び出さないようにご注意ください。



施工手順 L型プラン・U型プラン

1 ベースセット(①)の施工

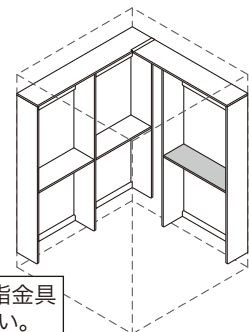
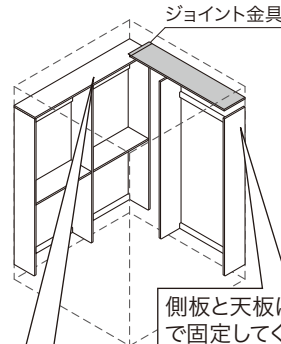
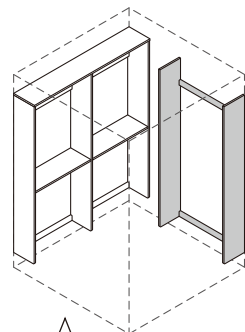
2 連結セット(②)の施工



1 背壁栈木・側板の取り付け

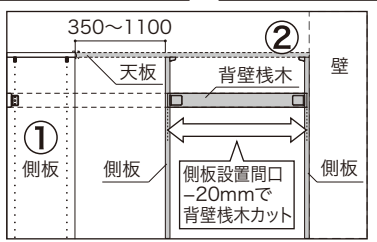
2 天板の取り付け

3 その他パーツの取り付け



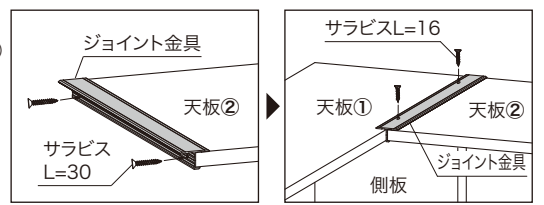
L型 完成

※②の背壁栈木は必ず①の背壁栈木と高さをそろえて取り付けてください。



ジョイント金具の取り付け

ジョイント金具を使って下図のように天板①と②を固定します。



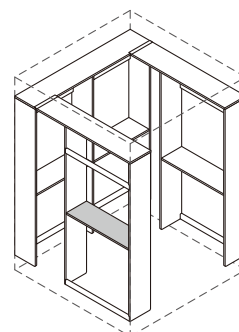
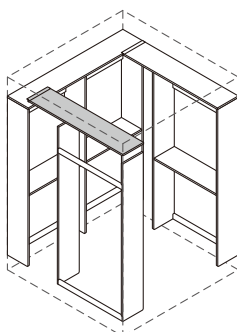
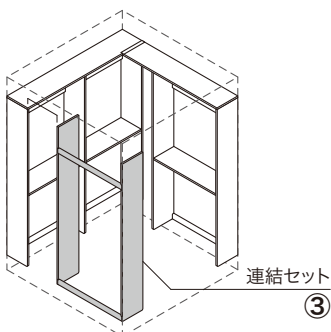
3 連結セット(③)の施工 (U型の場合のみ)

※以下は施工の流れのみ説明しています。連結セット(②)と同様に施工してください。

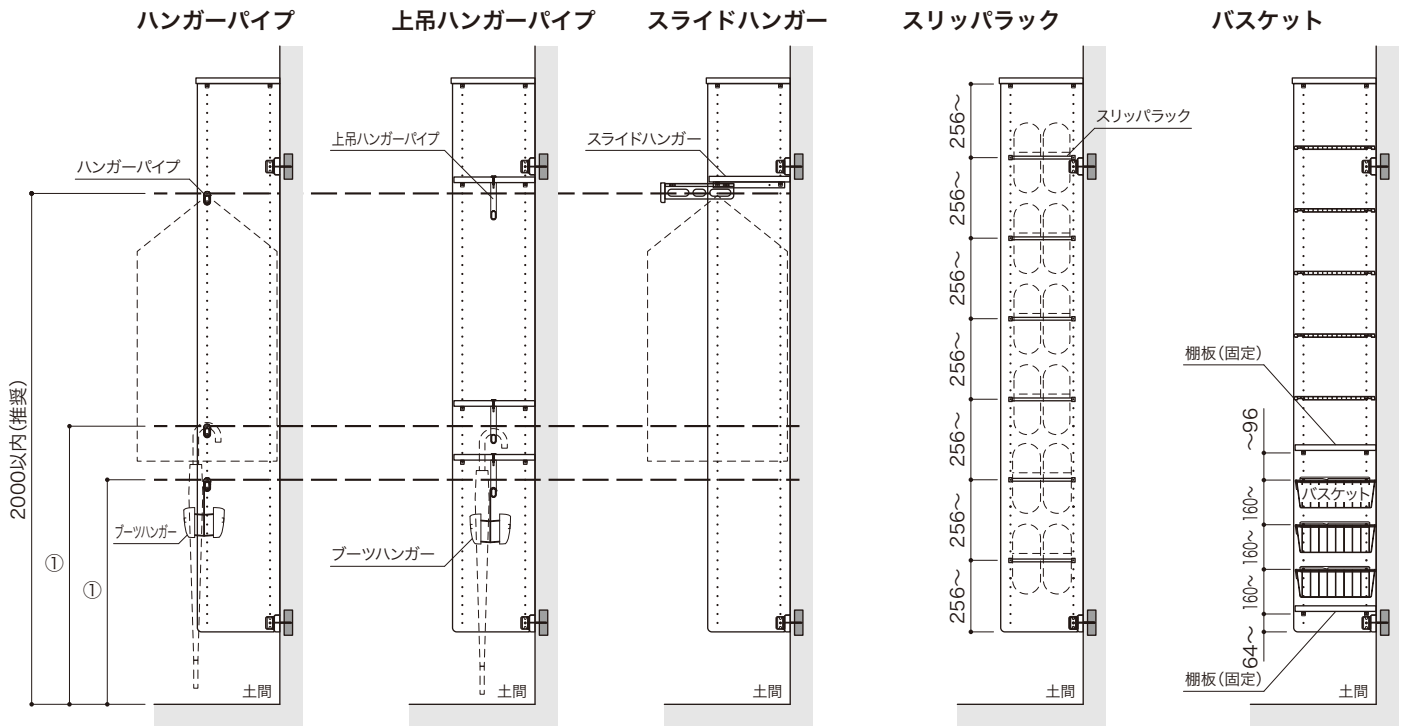
1 背壁栈木・側板の取り付け

2 天板の取り付け

3 その他パーツの取り付け



U型 完成



- 土間部分に設置する場合は、土間から2000mm以内での設置を推奨します。これ以上の設置高では、身長差によって手が届かない可能性があります。
- 設置高さは吊るす物によってかわります。(上図①)
(例) 傘:土間から900~1000mm/ブーツハンガー:土間から700~800mm

- 側板・仕切板の上下端から、256mm以上(ダボ穴8個分)空けて設置することを推奨します。
- 複数設置する場合は、上下で256mm以上(ダボ穴8個分)間隔を空けることを推奨します。
- 上記の条件を満たす場合、側板・仕切板1枚あたりに最大6本まで設置可能です。

- バスケットの上下に1枚ずつ必ず各棚板(固定)が必要です。複数設置する場合は、最上段・最下段のみです。
- バスケット上部の棚板は96mm(ダボ穴3個分)、下部の棚板は64mm(ダボ穴2個分)間隔を空けて設置することを推奨します。
- 複数設置する場合は、上下で160mm(ダボ穴5個分)以上間隔を空けることを推奨します。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

製品名:シューズクローク収納
ウォールゼットエノーク2
製造者名称:南海プライウッド(株)
発散区分:F☆☆☆☆
住宅部品表示ガイドラインによる
ロット番号:製品梱包に記載

-構成材料-

内装仕上部分		下地部分	
ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆	MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆	接着剤	F☆☆☆☆

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先:品質管理チーム 087-894-8025

